

栃木のブランドづくりスタート!



暫定税率失効に伴い県の対応を説明する知事=県議会議場で

私の任期は、残すところ半年を切りました。何とか全力投球できそうであります。公私共に応援して下さった皆様に心より御礼申し上げます。

市議、県議、市長、知事と仕事をさせてもらってききましたが、今任期が最も時間の経過が早かった、そんな実感があります。

県民協働で誇れるとちぎへ

栃木県知事 **福田富一**

初心

2008年盛夏号

平成20年7月発行
年2回刊
題字/福田富一 書

〈発行所〉

福田富一
暮らしと政治研究所

〒321-0102
宇都宮市江曾島町98番地
TEL 028 (645) 5100
<http://www.tomikazu.com>

行の受け皿が野村グループに決定、医師不足対策やこども医療費の拡充、とちぎ未来クラブの設立による県民全体で子育てを支援する仕組みや出会いの場提供事業の実施、フィルムコミッションの創設(約四百件の相談・八十一件の実績)県内で映画やテレビドラマなどの撮影、奥山村や里山などの保全と整備のための、とちぎの元気な森づくり県民税をこの四月導入(納税者年間七百万円、法人・均等割の七%)、平成十九年の工場立地件数は平成四年以来十五年ぶりの七十件台(七十一件)となり全国六位、研究所の立地件数は二件あり、過去十年間では十六件で、神奈川県三十件に次ぎ全国二位となっています。

また、栃木県自動車航空宇宙関連産業集積活性化基本計画も過日国の同意を得、今後は両業種の一層の集積促進と既存事業者の高度化を図り、開発から製造までを担うことのできる一大集積地を目指す方針です。尚、この基本計画により、工場立地法の特例や投資減税等の支援を得ることが出来ました。

元気の出そうな項目を並べましたが、課題も多くあります。まず県民の健康度です。女性の平均寿命がワースト二位・男性が同八位、死因別では肺炎は女性ワースト一位・男性同二位、脳卒中も女性一位・男性三位など、健康づくりが大きな課題です。

栃木SCや栃木ブレックス、日光アイスパックスのプロ三チームも活躍中ですが、それだけにサッカースタジアムや体育館の整備も急がねばなりません。

財政の健全化においては、知事就任時の県の借金(九九三億五千万円)も、県庁舎整備などで一兆円を超えることになり、十年計画で就任時の額より減らす計画を立て、歳出削減の取り組みは前倒しで、本年度でほぼ達成できそうであります。しかし体育館等の建設ですぐにまた増加が懸念されます。

ところで、本年度の借金返済予定額は一〇三九億円で、一日当たりになりますと元金が二億三千万円、利子は五千万円にもなります。

また、日本一影の薄い県とか、地域ブランド力全国最下位などと言われておりますが、誇り輝く栃木のブランドづくりもすでに始まりました。

これからも県民の皆様との協働の県政により、課題を克服し、真に誇れる、住んでいて良かった、住み続けたいと思える『とちぎ』づくりに邁進したいと思います。

引き続き、皆様の御指導御支援をお願い申し上げます。

また、栃木県自動車航空宇宙関連産業集積活性化基本計画も過日国の同意を得、今後は両業種の一層の集積促進と既存事業者の高度化を図り、開発から製造までを担うことのできる一大集積地を目指す方針です。尚、この基本計画により、工場立地法の特例や投資減税等の支援を得ることが出来ました。

元気の出そうな項目を並べましたが、課題も多くあります。

また、日本一影の薄い県とか、地域ブランド力全国最下位などと言われておりますが、誇り輝く栃木のブランドづくりもすでに始まりました。

これからも県民の皆様との協働の県政により、課題を克服し、真に誇れる、住んでいて良かった、住み続けたいと思える『とちぎ』づくりに邁進したいと思います。

引き続き、皆様の御指導御支援をお願い申し上げます。



メッセージボードを掲げて監視所に立つ知事

ちょっと一息

交通安全運動

一人一回一時間

4月4日、春の交通安全県民総ぐるみ運動(6月15日)を前に、宇都宮市のオリオンスクエアでプレイベントを開催。

知事は「1件でも事故が減らせるよう、交通安全全社会の実現に向けて協力をお願いしたい」と訴え、エコバックを配った。県は全職員に1時間、ボランティアで交差点に立つよう呼び掛けており、15日には知事も、メッセージボードを掲げて江曾島の交差点に立った。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞の記事を抜粋させていただきました。

地方の声で「復活要求」

暫定税率失効に対し

知事は4月30日、会見で「自動車ユーザーには負担が増すことになるが、行政を預かる立場からすれば、今回の国の対応はやむを得ない」と理解を求めた。暫定税率が3月31日失効、5月1日に復活したが、本県も大きく揺さぶられた。この1ヶ月間を追ってみた。

3月31日、暫定税率の期限切れが確定。県は最大約350億円の歳入不足が発生すると試算。08年度発注予定のすべての道路整備事業の当面執行停止を決めた。さらに「歳入の穴」が埋められないとして緊急性の比較が少ない314

事業、約50億円分の執行を留保する処置をとった。

4月8日、県議会全員協議会(全協)開催。知事は県財政への影響や県の対応策を説明。

同日午後、暫定税率復活や財政措置を求めた要請書を国へ提出。

4月15日、宇都宮市で暫定税率復活を求め、経済団体や業界団体など2千人参加して総決起大会。知事は「一致団結して地方の声を伝えよう」と挨拶。その後バス約50台で上京し、国会議事堂周辺や各政党本部前でデモ行進を行った。

4月30日、暫定税率を復活させる租税特別措置法改正案が衆院本会議で可決されたのを受け、知事は記者会見で、先に表明した予算の削減を撤回する方針を述べた。



緊急決起大会で挨拶する知事

暫定税率支持を

全国知事会談

全国知事会(麻生渡福岡県知事)は3月20日、ガソリン税の暫定税率の期限切れとなる31日を前に東京都内

で緊急総会を開き、暫定税率維持の税制関連法案の年度内成立をあらためて訴える声明を採択。暫定税率が廃止されれば「地方行政は大きな混乱に陥る」とした。福田康夫首相が19日に表明した「道路特定財源全額の一一般財源化の検討」について、会議では「受益と負担の原則などで大きな問題を抱えている」(福田富一栃木県知事)などの慎重な意見が続出。声明では、国の道路整備費などを上回る税収を一般財源に回す「現行の一般財源化枠」を拡大し、地方に重点配分するよう求めた。

与野党の修正協議が進まないねじれ国会の現状について批判。早急に修正協議に入るよう、声明で求めた。

◆1月1日 皇居/新年祝賀の儀に夫妻で出席

◆1月10日 農業士認定式/「農業振興の先導役として活躍を期待します」

◆1月17日 冬季国体で結団式/「県民に明るい話題を提供して」

◆2月1日 第57回関東東海花の展覧会/主催者を代表して「ゆとりと安らぎを感じて!」

◆2月7日 セブイレブンと県、包括連携協定結ぶ

◆2月12日 県と那珂川町、馬頭最終処分場で基本協定結ぶ

◆2月13日 災害対策本部会議/初の図上訓練

◆3月15日 北関東自動車道・宇都宮上三川IC(真岡IC

間開通「街づくりに高速道路ネットワーク欠かせない」(上、写真)

◆3月24日 「テクノ街道」(部分開通)開通式/「工業団地へ渋滞解消期待」

◆3月29日 産業通り1・2キロ開通

◆「川田入口の渋滞緩和期待」

◆4月1日 新規採用職員に訓示/「期待に応えられる行政マンになって」

◆4月4日 春の交通安全県民総ぐるみ運動前のプレイベント/「交通安全社会の実現に向けて協力を」

◆4月17日 大出一博氏写真展でトークショー/自然への思いを語る。

◆4月18日 キリンビールと県、地元農産物ブランド化で連携協定。

◆4月22日 巨人の原監督にイチゴ『とちおとめ』プレゼント

◆4月25日 県国会等移転促進県民会議出席/キャンプ那須・国に整備提案。

◆5月12日 市町村長会議/「積極的自殺対策に取組んで」と呼び掛け。

◆5月29日 都内で関東知事会議/国への11項目の要望まとめる。

◆6月12日 芳賀地区ブロック別市町村長会議/減反政策などで意見交換。

◆6月14日 とちぎ元気フォーラムin塩谷/高校再編などで意見交換。

地域の緑を守ろう

足尾の山に植樹

鹿沼で県植樹祭

知事は、4月28日、日光市足尾の旧足尾銅山の煙害で荒れた山で、初めて植樹活動を行った。

作業着姿の知事らはNPO法人足尾に緑を育てる会(神山英昭会長)会員の指導を受け、スコップで穴を掘り、トチノキなど50本を植樹。「予想以上に大変な作業」と息を切らしながら森を作る活動に参加してほしい」と呼びかけた。

知事は、「県民にも元気な森を作る活動に参加してほしい」と呼びかけた。



足尾の山に植樹する知事



植樹祭で根元に土をかける知事と子供達

好調「出会いサポート事業」

とちぎ未来クラブ

総会で挨拶する知事



県民総ぐるみで結婚や子育て支援に取り組むために設立された「とちぎ未来クラブ」の08年度総会が5月19日、宇都宮市内のホテルで開かれた。昨年9月から始まった7回の出会いイベントに計31

4人が参加、60組のカップルが誕生したことや、優待サービスの協賛店が千七店を超えたなどの実績を報告。知事は「次の時代を担う方々が結婚や子育てに夢を抱いて安心して産み育てることのできる日本一の県になるよう環境整備に取り組んでいきたい」と挨拶。本年度事業として、新たに企業内結婚支援事業を展開する、携帯電話HPによる情報提供などを決めた。



再選出馬を表明する知事

「人づくり」「安全・安心の議会後の会見で知事は、吉谷宗夫足利市長）や、県町村会（会長・高橋克法高根沢町長）も、全面的な支持を表明しているほか、2月27日には知事を支援する初の地区後援会「福田とみかず那須町後援会」が設立された。最終的には県内の旧49市町村で後援会組織の発足をめざしている。5月31日、上三川町と宇都

宮市で地区後援会設立総会が開かれ、夜の宇都宮市の護国会館には、船田元衆院議員や佐藤栄一宇都宮市長、県政財界関係者や支援者など約600人が詰めかけ「一丸となつて支援する」と決議。2月末の出馬表明から3ヶ月のこの日で、県内旧市町村のほぼ全域で後援会が設立された。残りの地区も近く発足を予定。地区後援会を束ねるのは、福田富一後援会総連合会。会長は昨年11月に就任した福田宏一氏（福田屋百貨店社長）《右に会長就任挨拶、プロフィール掲載》。

新たに、宇都宮市馬場通りに後援会総連合会事務所を開設した。《住所等は下記の通り》

福田富一後援会総連合会事務所
住所 宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(633)1111
FAX 028(633)1110

後援会のページ

後援会総連合会会長に就任して

(株)福田屋百貨店代表取締役社長

福田 宏 一



昨年11月に会長に指名されて8ヶ月が過ぎました。その間、会社の経営者ではない私は、暗中模索の状態の中から後援会活動とは何か、今後何をやっていくべきかを考えてきました。そこで私は、理想を追うのではなく、福田富一氏を支援する熱意を誰よりも高く持つこと、自分の考えを素直にだすこと、すなわち、「県内の人々の生活の向上に貢献する」、知事の掲

げる「地域貢献、県民の為の政治」とは同一目的であるとの認識を持ち、より多くの人々から支援を得る、いいかえれば、いかに多くの票を集めるかに集中して、後援会活動をすれば良いのではないかと考えました。今日から11月に向けての5ヶ月間、本格的な選挙運動を展開していく訳ですが、私は高校大・学と野球の選手でしたので、常に「練習で泣いて、試合で笑え」をモットーとして生きてきました。11月に笑えるためには厳しい試練を乗り越えてのみ可能であると思います。皆様には、さらにより一層の後援会への支援をお願い申し上げます。

福田宏一氏プロフィール

福田宏一（ふくだこういち）
昭和21年7月9日生、宇都宮市出身。44年、慶応義塾大学経済学部卒。47年アメリカ・カリフォルニア州立大学大学院ビジネス学部修士課程終了。

49年株式会社福田屋百貨店入社、取締役企画室長、常務取締役真岡店長、取締役副社長を経て、平成4年代表取締役社長就任。現在に至る。
平成19年11月福田富一後援会総連合会会長就任。

『福田家の茶の間』

夫が私の髪の毛をじつと見ているので「なに？」と聞くと「随分増えたなあ」と一言。「苦髪染爪というそうだよ」と苦勞の多い人は髪の毛に現れ（薄くなったたり、白くなったり）、染爪をして人をは爪が伸びるのが速い、という意味だそう。数年前、白いものが目立ってきて気にしていると、「自然のままでいい」と言っていた夫なので、私は労いの言葉と受けとめた。その日の出来事などを話しながら食事をするが、ある日テレビのニュースで「ふるさと納税」の話題をやっていた。



県も寄付を頂いたことにふれ、「いつかは人のためにお世話する立場になりたいな」とため息混じりに夫。これまでずっと皆さんにお世話になりっぱなしなので、夫の気持ちが良い理解できた。『いつかそうなるように頑張ってくださいね』と密かに思った私である。

父の日に両家の実家へ行ってきた。忙しにかまけてあまり帰らないが、節目節目には行くようにしている。そこにはいつも心待ちにしてくれている両家の両親がいた。そんな両親にいつまでも元気でいてほしいと改めて願ったのだ。

初春の慶びのなか

ゆりの会新年会

恒例の『ゆりの会』（女性の会）新年会が、2月24日午前11時からホテル東日本を会場に華やかに開催され、知事と喜江子夫人を取り囲む彩りゆたかな衣装が初春の慶びを一層盛り上げた。会員の坪井文栄さんによる新舞踊「涙のお立酒」も大輪の花を添えた。



景品の当たった皆さんと知事

編集後記

福田知事は、26年の政治生活の中で、今任期が最も時間の経過が早かったと、本紙巻頭の挨拶に書いているが、一刻を惜しむべき課題は山積、その一つ一つを解決に導いてきた真摯な姿勢を見守る周辺の私たちにも、知事の感懐は痛いように響いてくる。

今年秋は二期目の選挙となる。栃木県民とより健全な社会実現に向かって誠実な日々を邁進する知事に、より多くの方々のエールを頂戴したいものである。

◇福田富一暮らしと政治研究所

宇都宮市江曾島町98番地
電話 028(645)5100
FAX 028(645)1124

平成20年度スケジュール予定

ハイキング * 日時 7月13日(日) 午前6時半
場所 那須町茶臼岳 * 日時 12月7日(日) 午前11時
場所 今宮公園 * 日時 平成21年2月15日(日) 午前11時
場所 ホテル東日本 * 日時 9月27日(土) 午後6時半
場所 宇都宮グランドホテル * 日時 平成21年2月15日(日) 午前11時
場所 ホテル東日本

※詳細につきましては、江曾島の後援会事務所にお問合せ下さい。